

将来イメージ（近鉄四日市駅から四日市港をのぞむ）



「ニワミチよっかいち」 中央通り再編事業について
— 山を望み港へ結ぶ歩きたくなる中央通り —

令和 5年11月28日

四日市市 都市整備部 市街地整備課

1. 四日市市の交通×まちづくり
2. 中心市街地再開発プロジェクト
3. 『ニワミチよっかいち』中央通り再編基本計画
4. 最近の取り組み概要
 - ・賑わい創出社会実験・自動運転車両等の実証実験
 - ・スマート化の取り組み
 - ・郊外部の取り組み
5. 今後の取り組み概要
 - ・官民連携の取り組み

1. 四日市の公共交通 × まちづくり



四日市あすなろう鉄道
(H27.4～公有民営方式により運行)



四日市あすなろう鉄道

- ・地域公共交通網形成計画策定〔H26.12〕
- ・鉄道事業再構築実施計画の認定〔H27.3〕
- ・鉄道事業再構築事業により施設更新〔H27d～〕



近鉄四日市駅
あすなろう四日市駅

中央通り再編

JR四日市駅

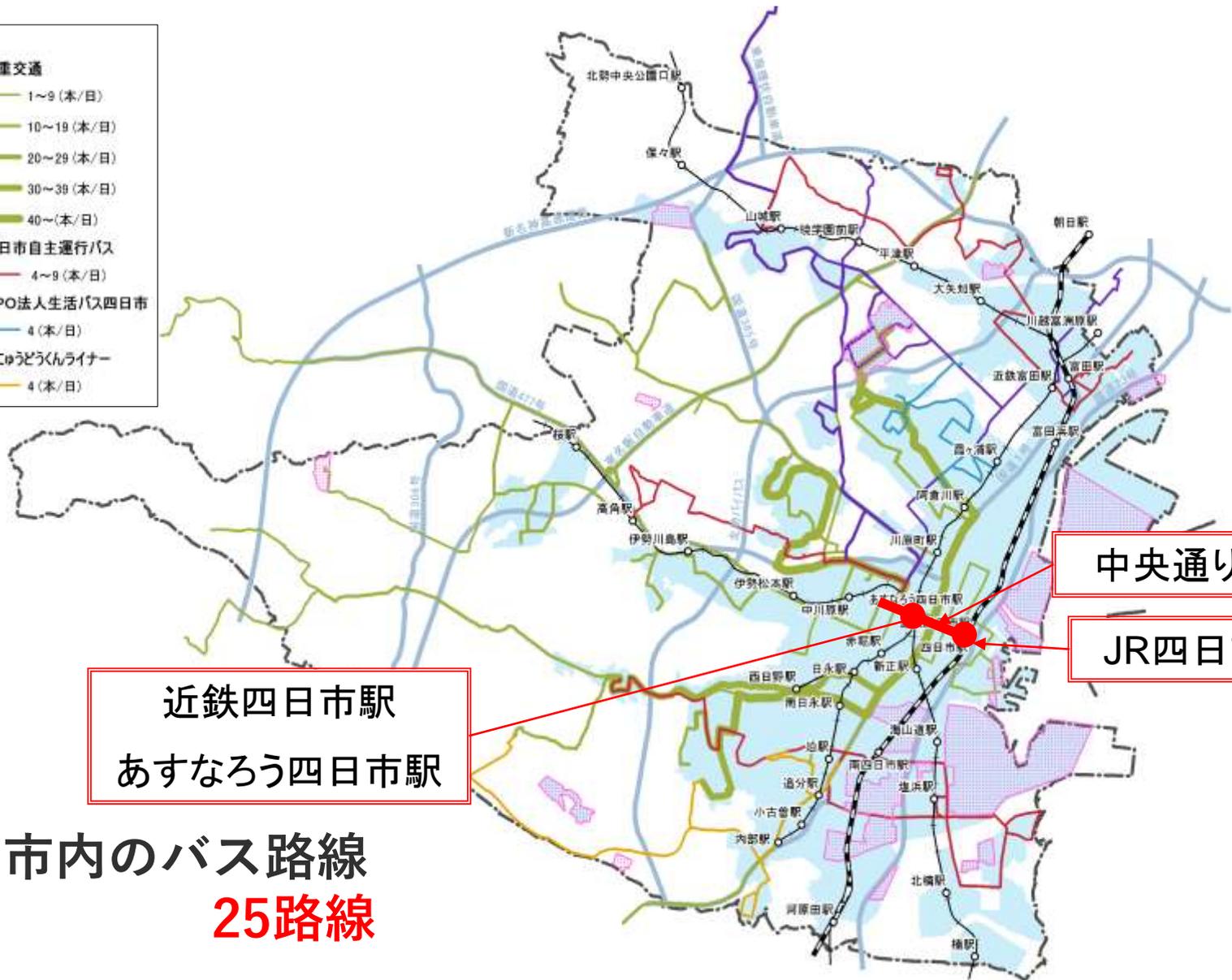
四日市市内の鉄道路
四日市市内の鉄道駅

7 路線
35 駅

四日市市内のバス路線図

凡例

— 私鉄	三重交通
— JR線	1~9 (本/日)
— 高速道路・国道	10~19 (本/日)
■ 工業団地	20~29 (本/日)
■ 市街化区域	30~39 (本/日)
— 三岐鉄道	40~(本/日)
— 1~9(本/日)	四日市自主運行バス
— 10~19(本/日)	NPO法人生活バス四日市
	4 (本/日)
	こにゅうどうぐんライナー
	4 (本/日)



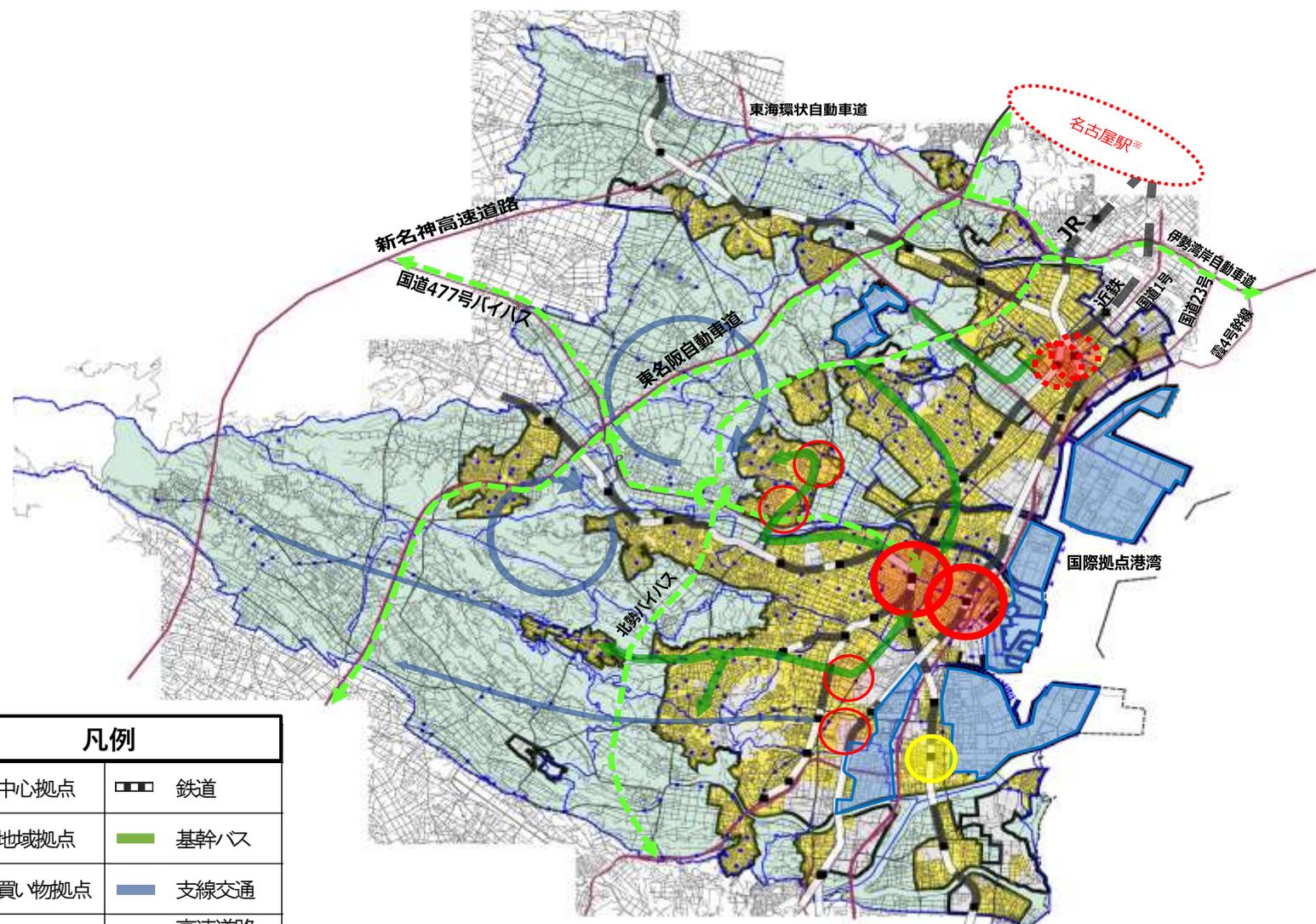
近鉄四日市駅
あすなろう四日市駅

中央通り再編

JR四日市駅

四日市市内のバス路線
25路線

目指すべき将来都市構造イメージ【立地適正化計画〔R2.3）】



凡例	
中心拠点	鉄道
地域拠点	基幹バス
買い物拠点	支線交通
交通拠点	高速道路 幹線道路
産業拠点	将来 ネットワーク

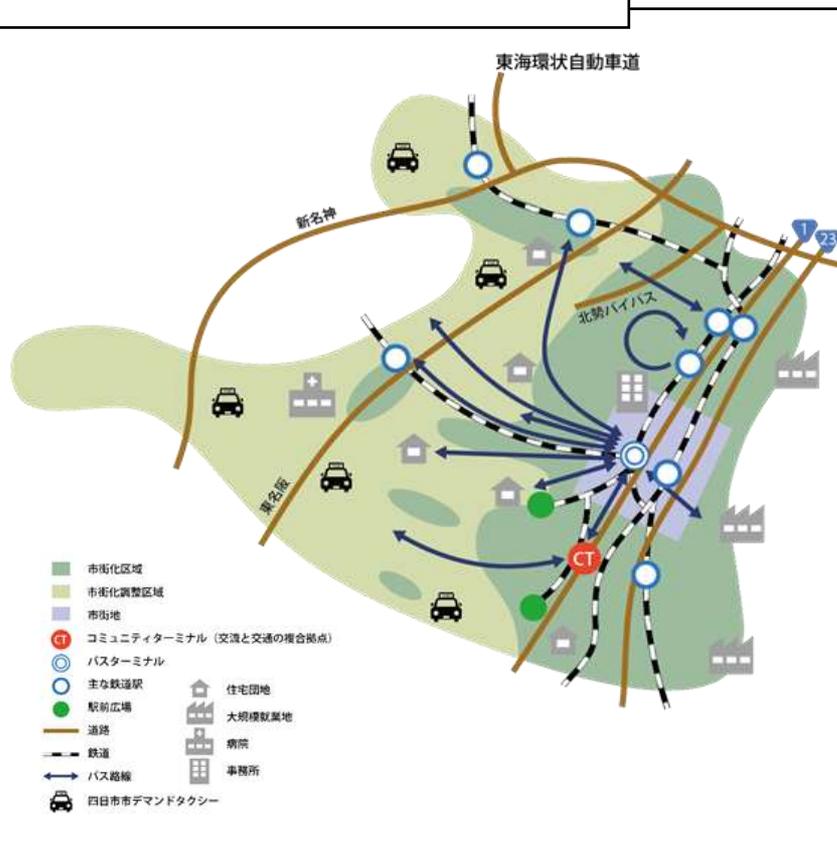
区域	市街化調整区域	居住誘導区域	市街化区域
----	---------	--------	-------

将来公共交通ネットワークイメージ

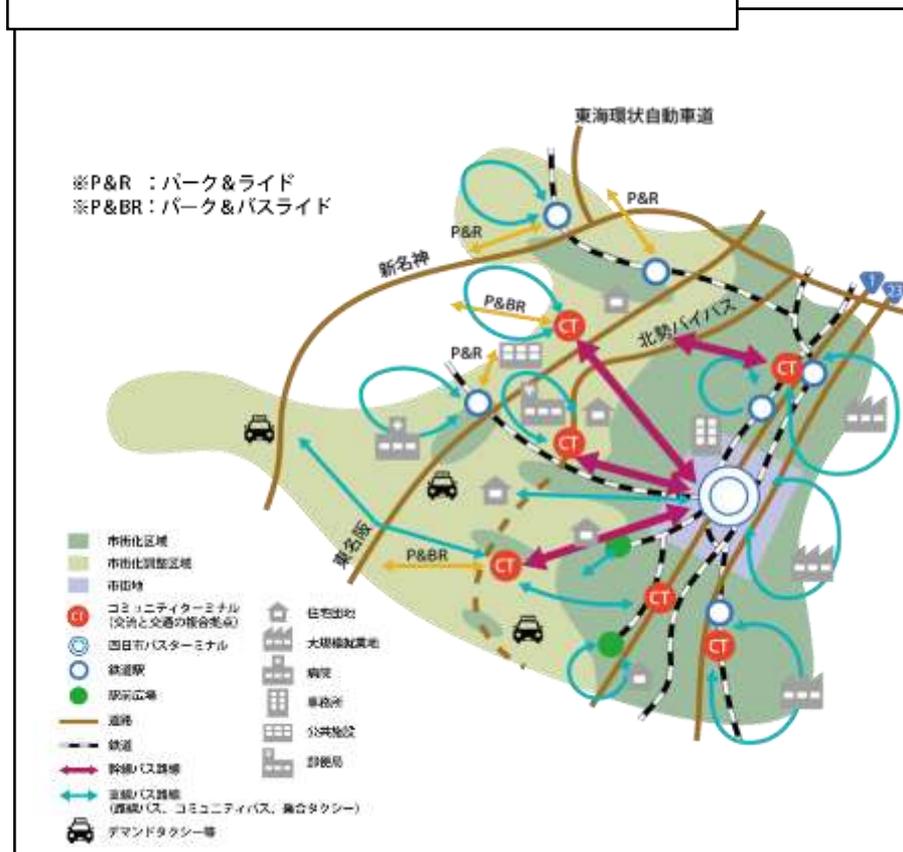
【四日市都市総合交通戦略〔H23.10策定、R5.3策定〕】

【四日市市地域公共交通計画〔R5.2〕】

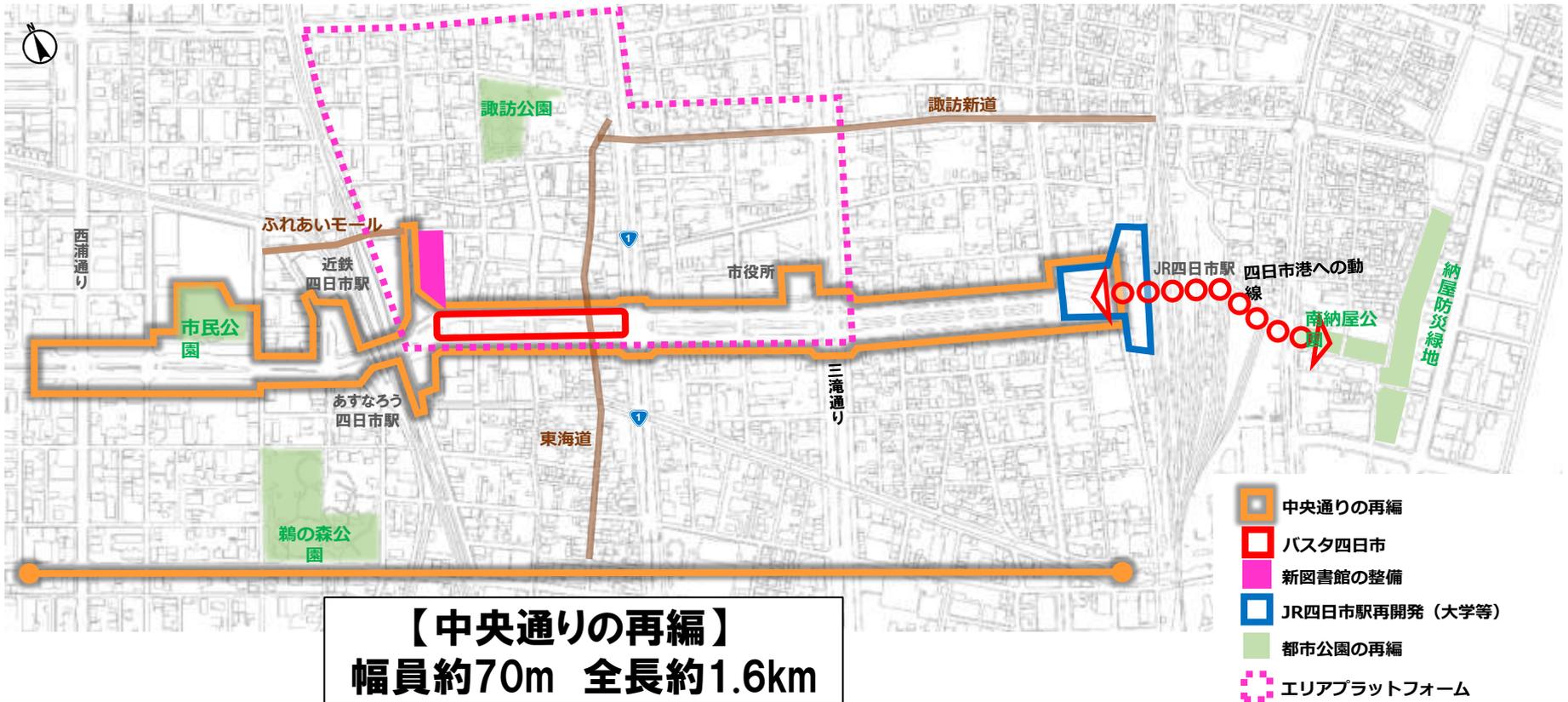
現在の状況（イメージ図）



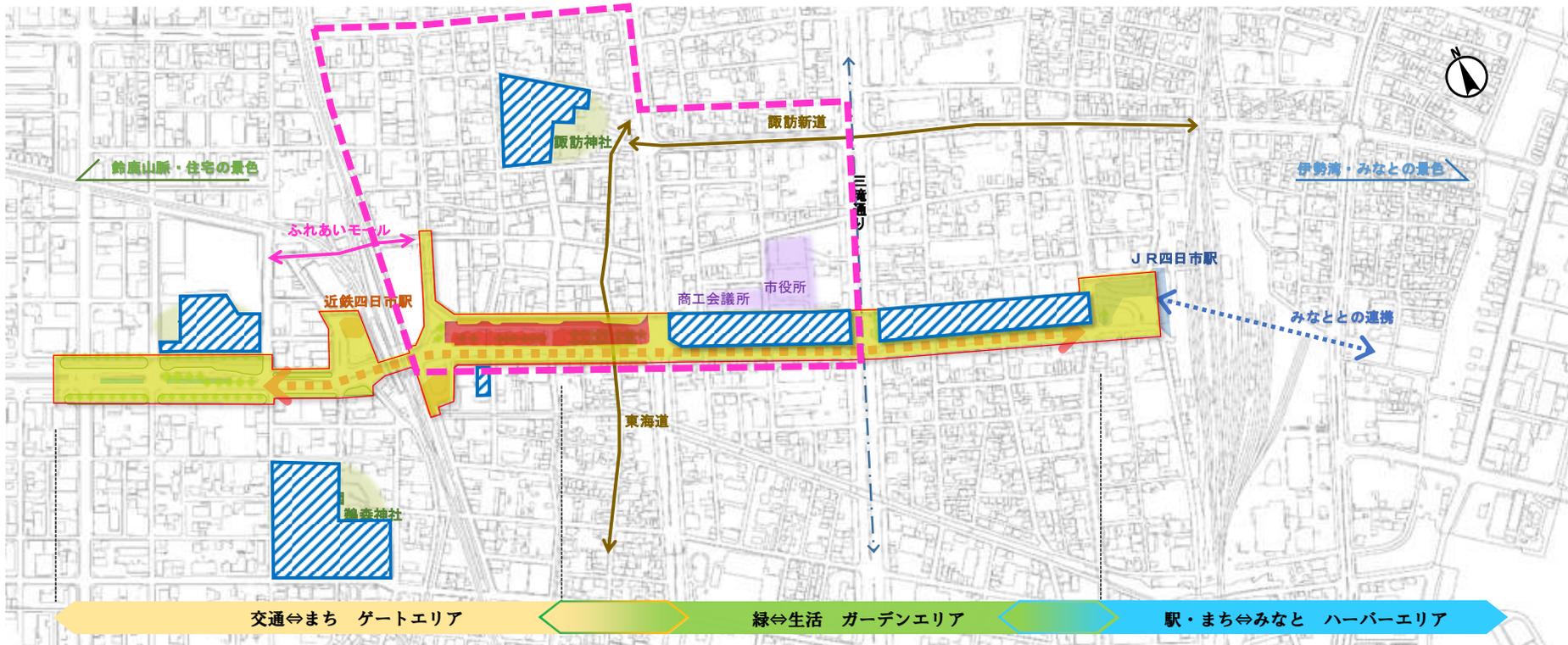
将来の目指す方向（イメージ図）



2. 中心市街地再開発プロジェクト



国の支援制度の活用（事業の枠組み）



- 【凡例】**
- :バス事業(国直轄)
 - :都市・地域交通戦略推進事業
 - :まちなかウォークアブル推進事業
 - :官民連携まちなか再生推進事業

3. 『ニワミチよっかいち』中央通り再編基本計画



■ 基本計画の目的

- ・ 基本計画では、下記の4つの目標の達成を達成目指します。
- ・ 基本計画というデザインとは、施設等のモノの配置・大きさから形態、色彩、仕上げといったハード的な視点から空間の利活用などのソフト的な視点も対象とします。

▶ 今回再編を行う中央通り全長約1.6km、幅員70mの広大な空間全体を「デザイン」し、関係者が一丸となってまちづくりに取り組むための指針となるものです。

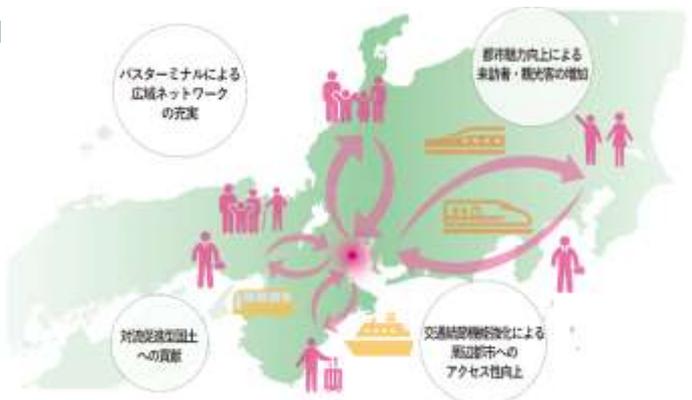
① まちなかの回遊性向上による賑わいの展開



② 都市の魅力・暮らしの質向上による、東海地方をリードする産業・交流拠点都市の実現



③ 広域連携強化による交流人口の増加



④ グリーンインフラの導入や防災機能の向上による、環境・防災先進都市の実現



“ニワミチよっかいち” -山を望み港へ結ぶ歩きたくなる中央通り-

「ニワ」

緑・滞在・交流
(グリーンインフラ)



緑とひとの豊かな関係の中で気兼ねなく時を過ごせる

「ミチ」

交通・移動+滞留+活動の場
(ウォークアブル)



居心地がよく歩きたくなる (“WEDO”)

“ニワミチ”

交通・移動+滞留+活動の場+緑・滞在・交流



多様な活動が展開され、居心地がよく歩きたくなる歩行者中心のミチ
緑とひとの豊かな関係をともに育み、気兼ねなく時を過ごせるニワ
(ウォークアブル×グリーンインフラ)

中央通りでは、歴史の中で育まれてきたクスノキ並木の豊かな緑を活かし、自然との関わりの中で質の高い暮らしを実現する「グリーンインフラ」となる“ニワ”に、近年道路空間再編の主流になりつつある、歩行者を中心として交通だけでなく滞留や活動の場といった機能も取り入れた「ウォークアブル」な“ミチ”を掛け合わせた、“ニワミチ”をコンセプトとしました。

「ニワミチよっかいち」という言葉には、緑とひとの豊かな関係をともに育んでいながら、自由に立ち寄り、気兼ねなく時を過ごせる「ニワ」の役割に加え、歩行者中心の考え方に基づきつつ、市民が自分の空間として使い、様々な出来事に出会い、歩きたくなるような「ミチ」の役割を担っていきたいという意味が込められています。

“ニワミチ”の実現は、都市の発展の過程で公害を経験してきた四日市市が、環境先進都市として今まで以上に環境に配慮し、人々に生まれ、選ばれ、住みたくなるまちになる「リーディングプロジェクト」となるものです。

4つの視点と中央通りの整備方針

■ 4つの視点

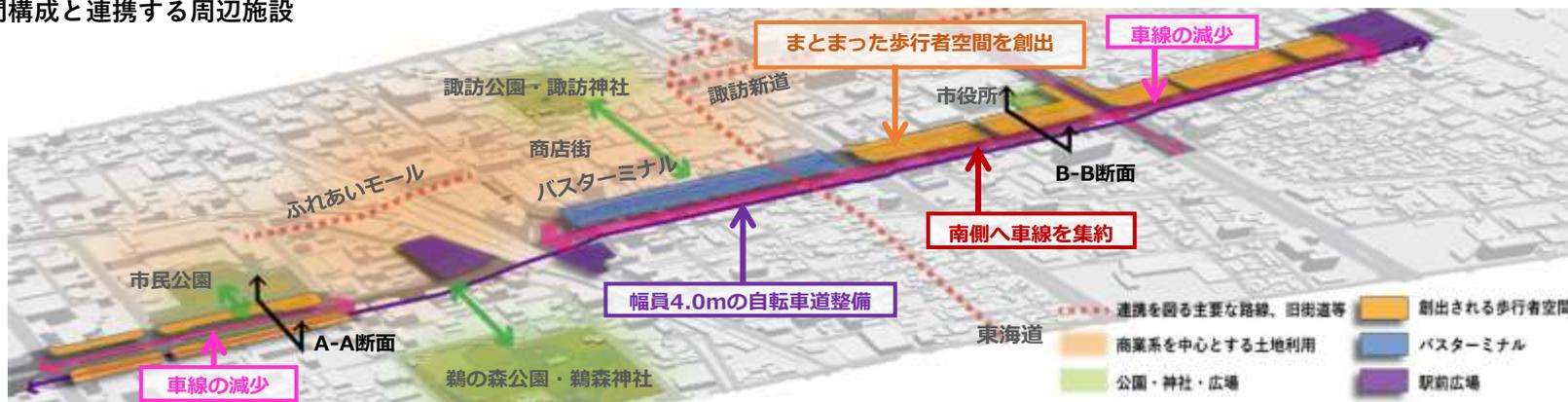
視点①：賑わい・もてなし空間の創出と回遊性の向上
「顔・賑わいづくり」

視点②：まちづくりと連動した交通機能の配置
「交通機能強化」

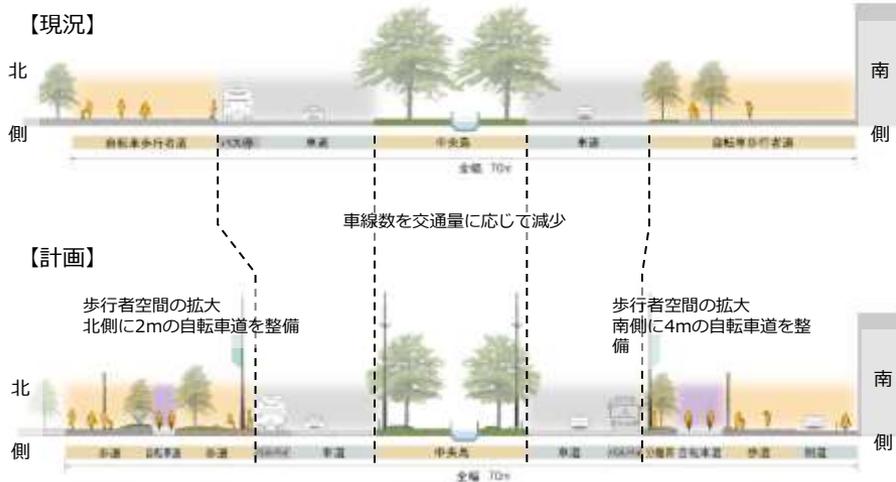
視点③：中央通りを活用した空間の魅力向上
「空間の魅力向上」

視点④：社会情勢の変化への対応
「スマート化、レジリエンスの向上」

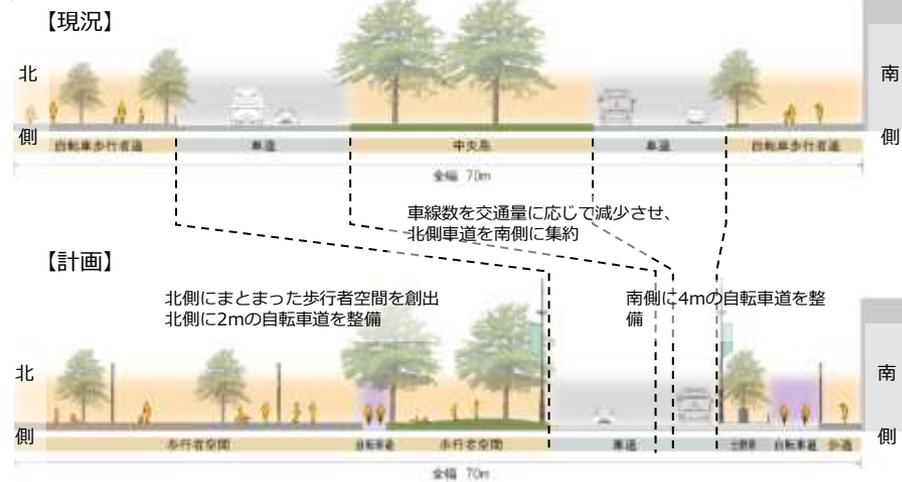
■ 空間構成と連携する周辺施設



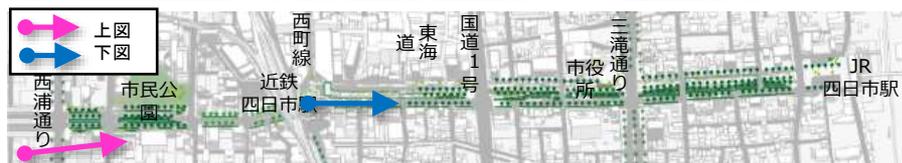
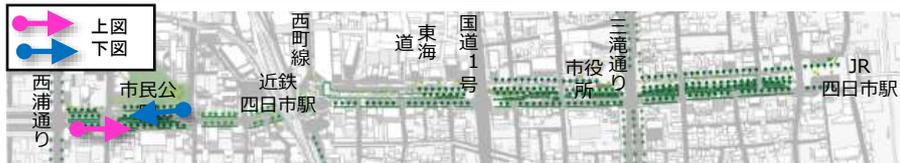
西浦通り～市民公園東区間の道路断面（A-A断面）



国道1号～JR四日市駅区間の道路断面（B-B断面）

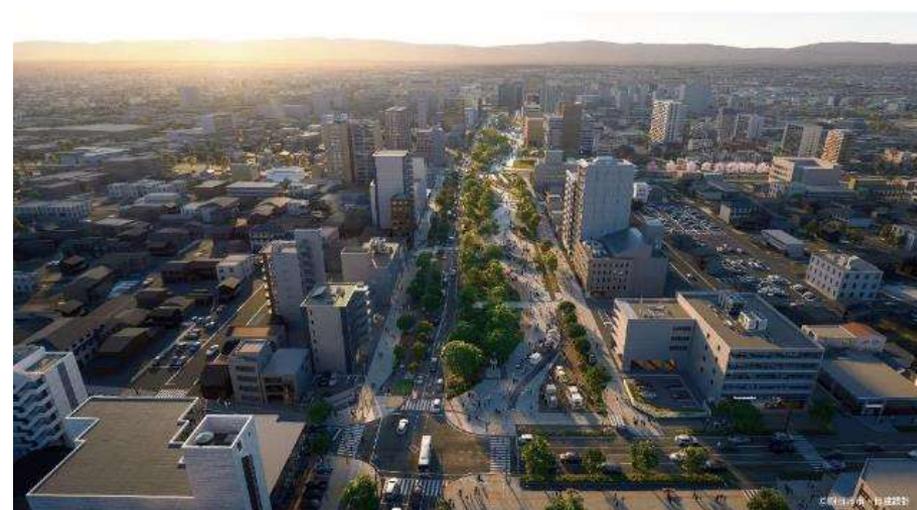
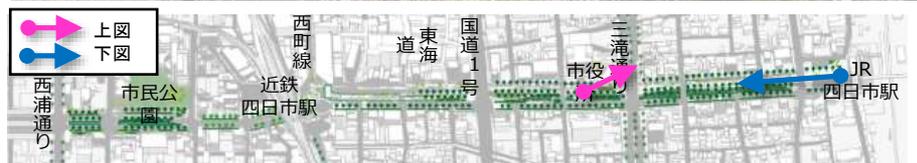
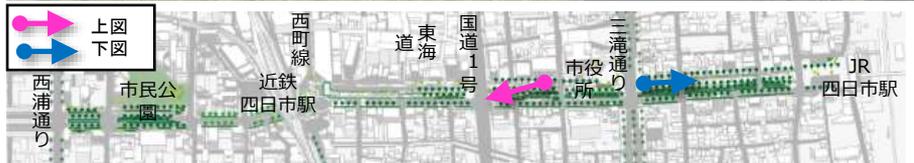


4. 将来イメージ



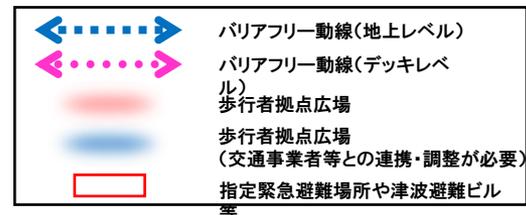
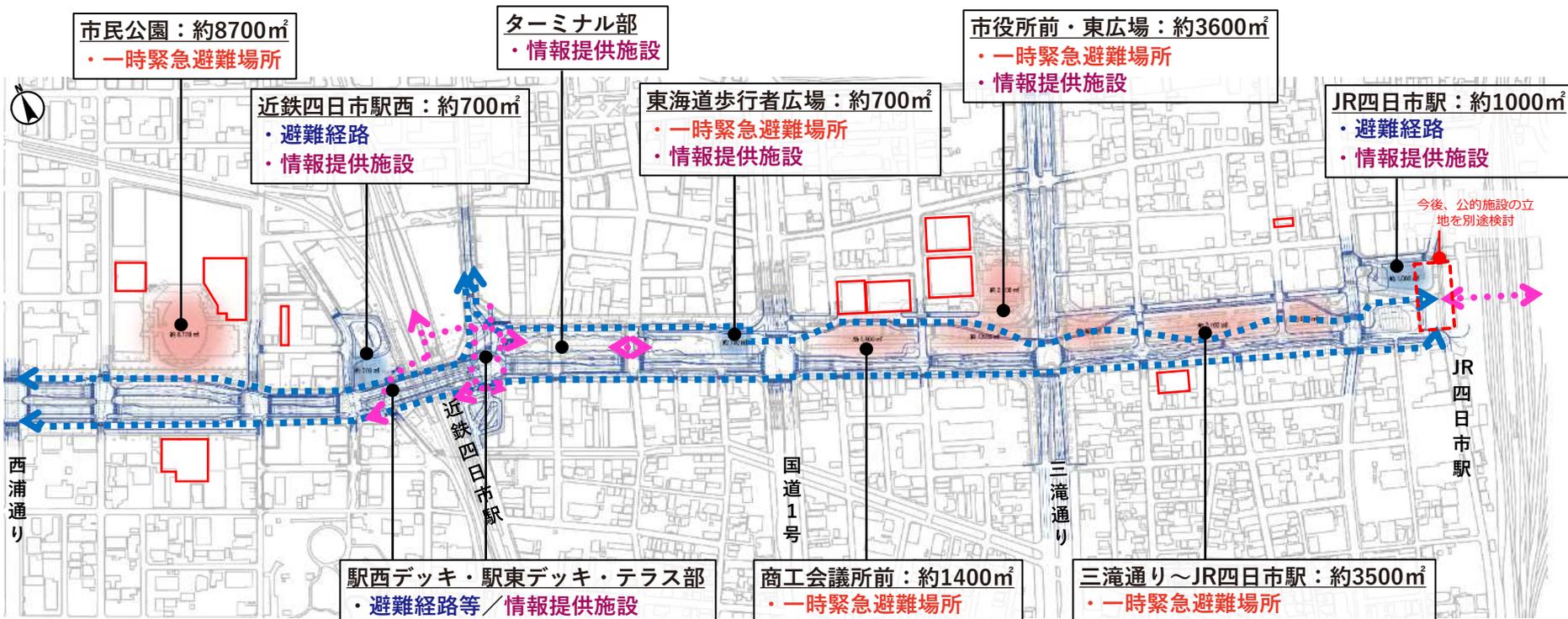
4. 将来イメージ





5. 災害時の使われ方

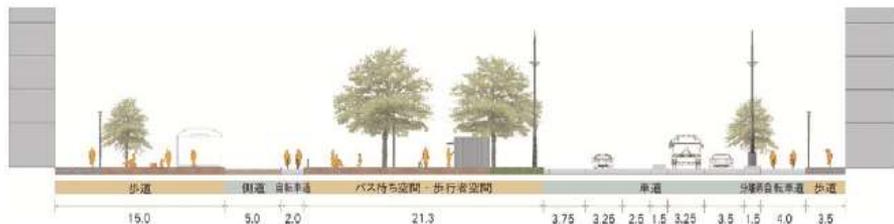
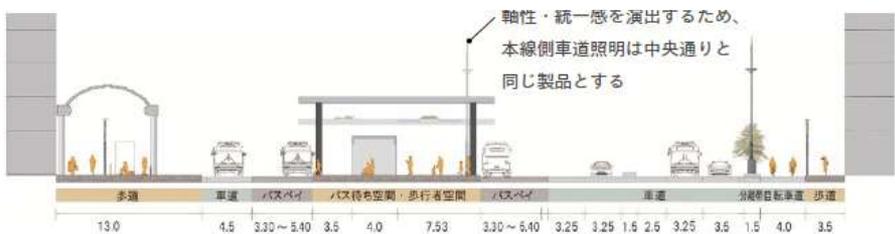
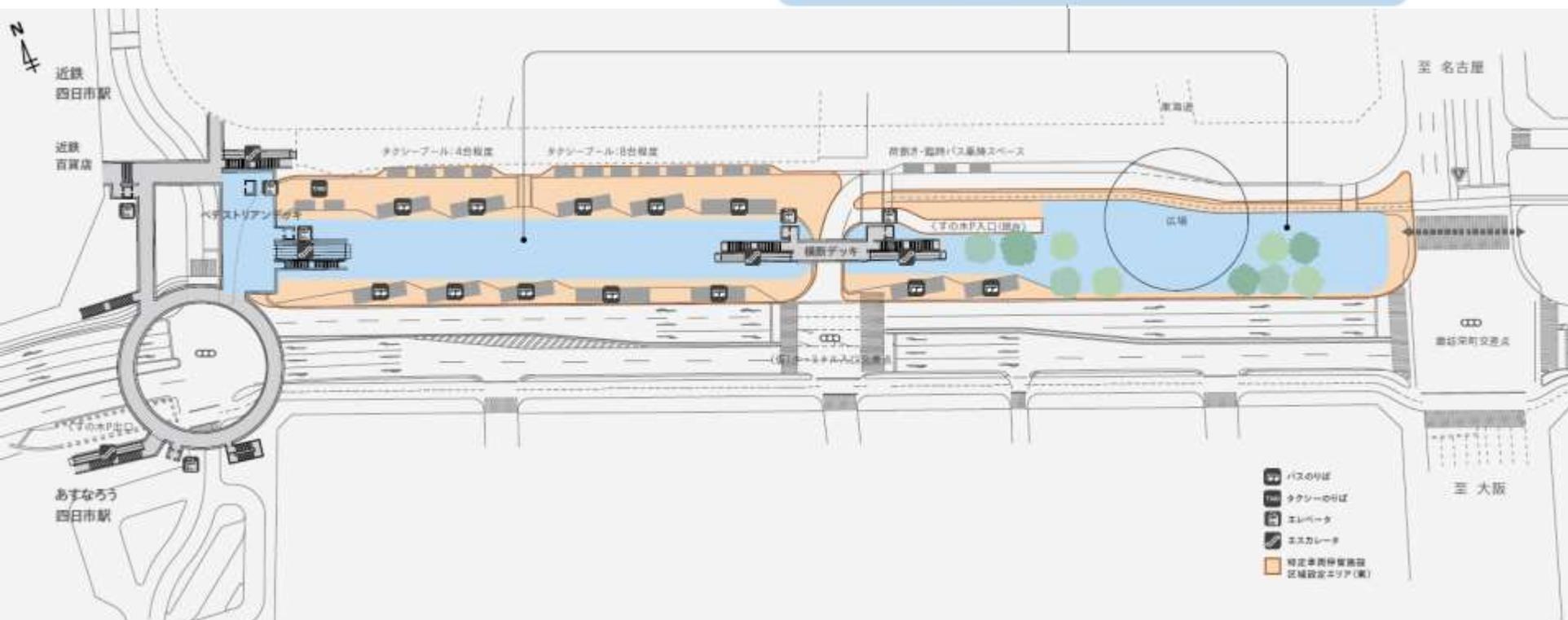
- 中央通りでは、バリアフリーに配慮した歩行者動線、徒歩2分程度の間隔で歩行者拠点広場、交通結節点となる近鉄四日市駅周辺には歩行者デッキ、JR四日市駅とみなとを結ぶオーバブリッジなどの整備を予定しています。
- 全線を通して整備される歩行者動線や歩行者デッキ・オーバブリッジについては、被災時の避難経路・代替輸送等への動線を基本的な役割として想定しています。
- 中央通りについては、今回の再編により屋外のオープンスペースが創出されるため、屋外空間の利用を想定し、避難所ではなく指定緊急避難場所等への活用を目指します。



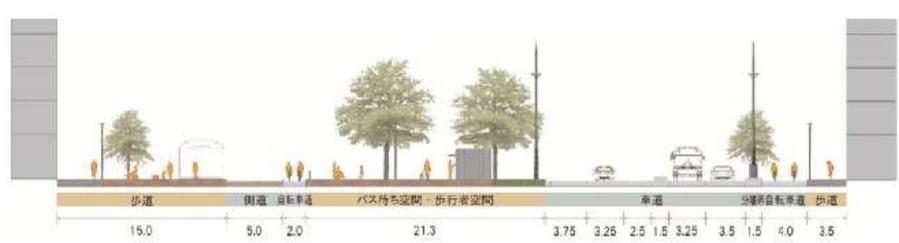
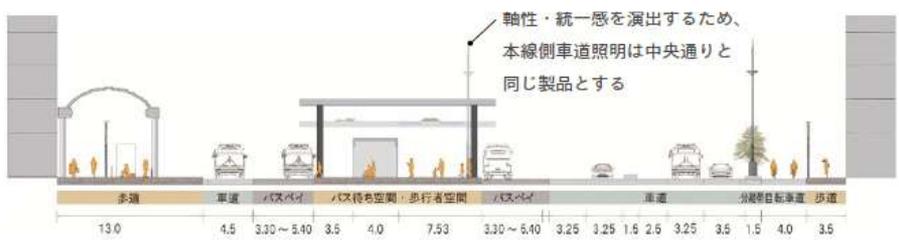
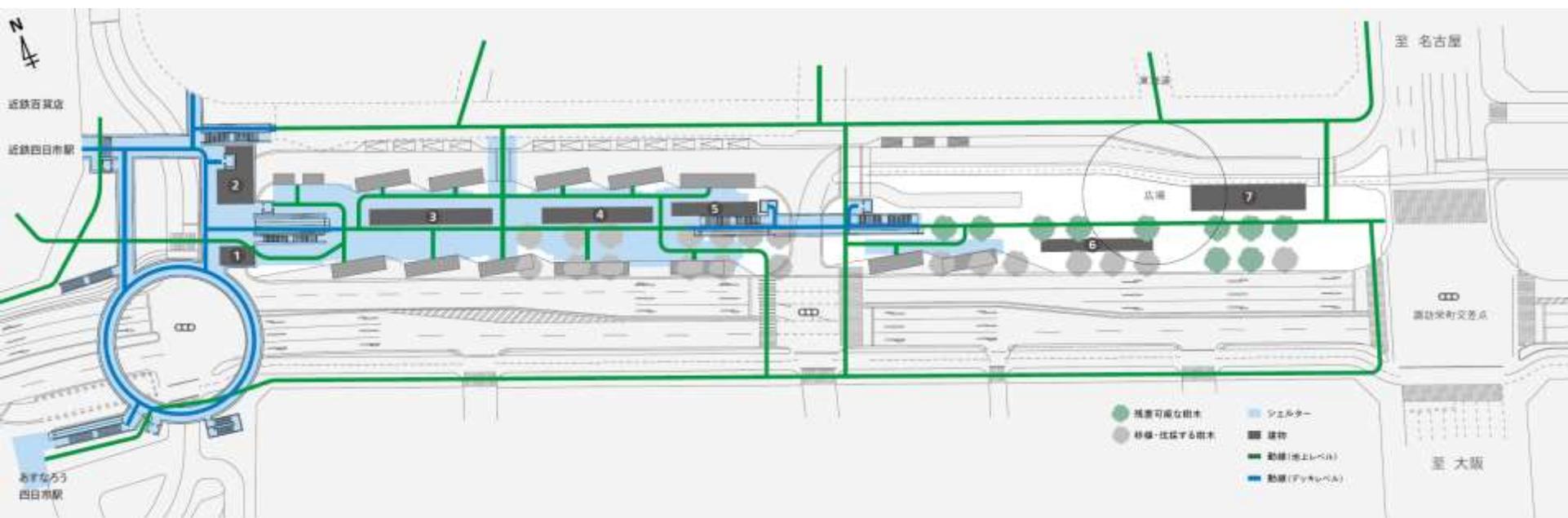
参考：令和2年 道路法改正

- ・ 特定車両停留施設の設定
- ・ コンセッション制度の導入

- ・ 情報提供施設
- ・ チケット販売所
- ・ トイレ・パウダーコーナー
- ・ 待合空間・コインロッカー
- ・ 子育て支援（授乳室）
- ・ 賑わい施設
- ・ 防災機能
- ・ 並木空間
- ・ 魅力ある滞留スペース

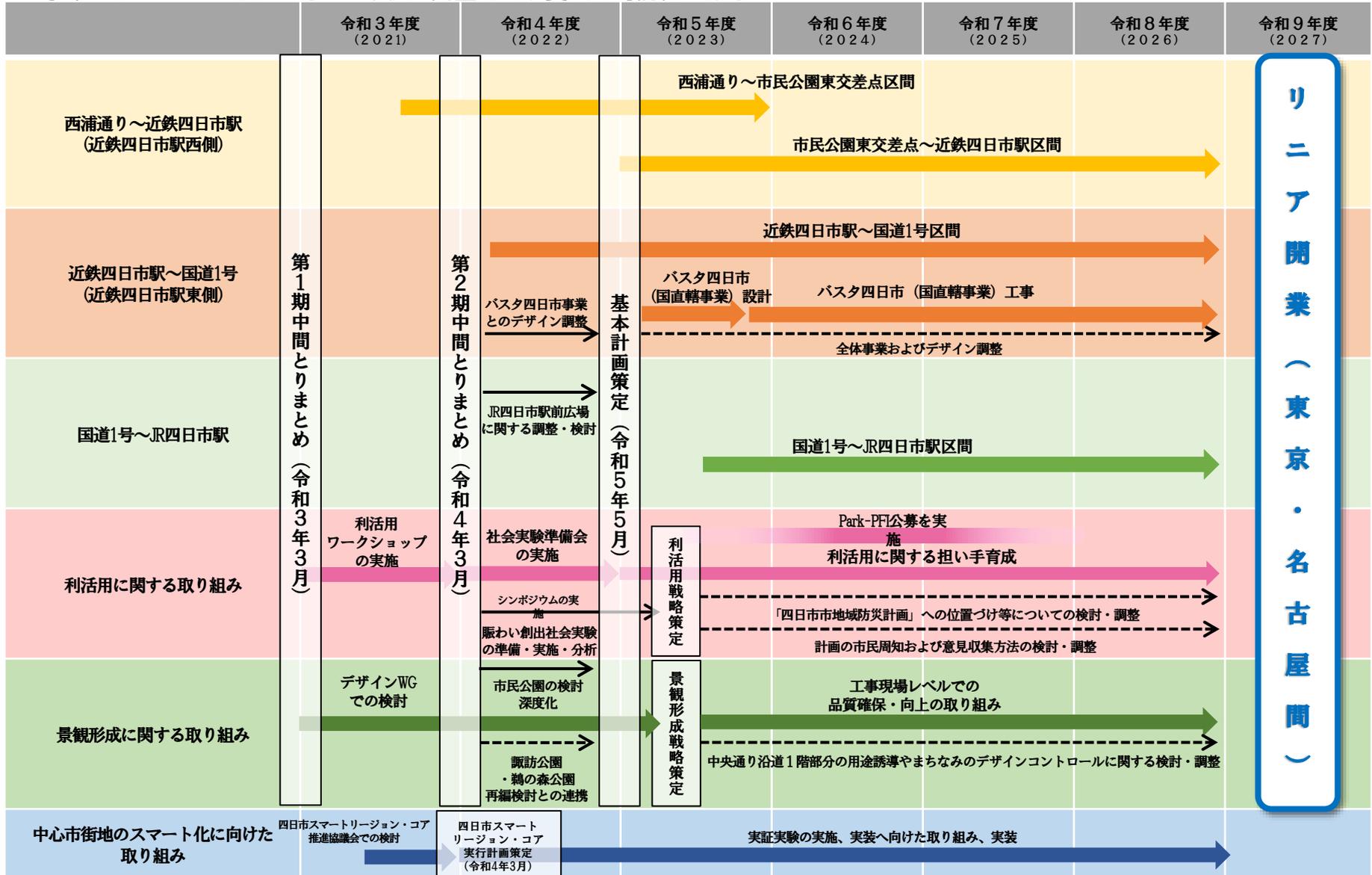


	残置可能な樹木		シェルター
	移植・伐採する樹木		建物
			動線(地上レベル)
			動線(デッキレベル)



今後の進め方 (事業スケジュール)

・事業スケジュールについては、今後の調整により変更の可能性はある



---> 基本計画策定以降、本計画と連携しつつ、別途の関連事業等として検討・調整を行っていく事項

「都市公園再編」

- ・市民公園詳細設計
- ・諏訪、鵜の森公園基本設計

「エリアプラットフォーム」

- ・未来ビジョンの検討を開始

「自動運転車両等の実証実験」

- ・中央通りの賑わい社会実験にあわせて実施

「先行整備区間」

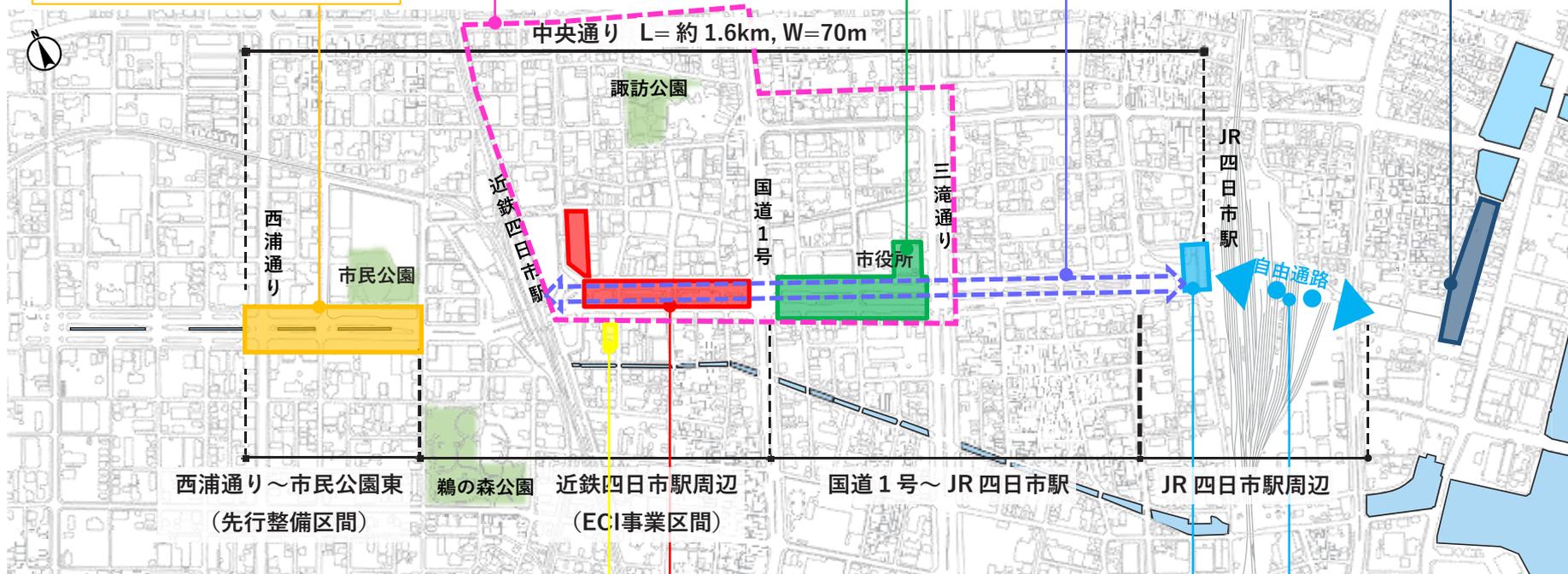
- ・令和3年度に工事着手済み
- ・ローカル5G整備

「賑わい創出社会実験」

- ・令和4年9月22日～10月16日の25日間で実施
- ・令和4年11月27日 シンポジウムの開催

「みなとまちづくりイベント」

- ・令和4年10月16日に開催



「一体型滞在快適性向上事業」

- ・ホテル+オフィス立地に伴いテラス等を整備

「JR四日市駅周辺」

- ・駅前に大学や文化交流施設等の立地を検討
- ・みなとへ結ぶ自由通路の設置を検討

「近鉄四日市駅周辺」

- ・令和4年度から樹木移植・車道振替工事に着手
- ・駅前に図書館の立地を検討

- 賑わい創出社会実験：今後の道路空間の利用や運営のあり方を検証
- 自動運転車両等の実証実験：来街者の回遊を促す交通手段のあり方を検証
- みなとまちづくりイベント：みなとまちづくりを考えプランを進める



「賑わい創出社会実験」
「はじまりのいち」ポスター



「自動運転等の実証実験」
「まちなかモビリティ」ポスター



「みなとまちづくりイベント」
「BAURAミーティング」ポスター

中央通り賑わい創出社会実験

はじまりのいち

Market 4 Beginning

2022.9.22 Thu - 10.16 Sun / 10:00-21:00

将来の中央通りが期間限定で出現！

“四日市に新しいカルチャーをつくる”そんな可能性を探るため社会実験を行います。クスノキ並木が美しい中央通りを、市民が集う新しいカルチャーの生まれる場所に変わっていきます。美味しい食事に素敵なアイテム、様々なジャンルのお店が並び、スケートボードパーク、JAZZ FESTIVAL、e-sports、子どもが楽しめるイベントなどや自動運転の実証実験もあるらしい、たぐらみ、つむいで、つなげていく。中央通りの可能性を探る社会実験『はじまりのいち』。何か“新しいこと”が生まれる場所へ。ぜひ、お問い合わせの上、お越しください。



※イラストは全てイメージであり実際とは異なる場合があります

目的

- この場所の使い方や可能性を探る
- 四日市でみんなとつながる
- 計画全体をみんなに知ってもらう
- 将来ここで暮らす可能性がある人と出会う

開催イベント

- 9/24(日) 11:00-18:00
こにゅうどうくんカップ-TWT2022DOJO-
- 9/25(土) 18:00-19:00
Rox Gaming 英会話スクール アンビで英会話体験ブース
- 10/1(土) 10:00-15:00
夢見る小学校上映する会@三重《マルシェ部》
- 10/2(日) 10:00-16:00
近鉄百貨店四日市店 近鉄文化サロン『ミニ文化祭』
- 10/2(日) 10:00-13:00
スケートボードパークイベント：プロの講師による初心者向けのスクール
- 10/8(土) 10:00-13:00
camp hack 四日市市役所 Powered by 俺たちのキャンプ場
- 10/9(日) 12:00-20:00
グッズフェアフェス 2022
- 10/10(月) 11:30/14:00-14:30
日本徒手空拳同連盟 優真会 空手演武
- 10/15(土) 10:00-13:00
スケートボードパークイベント：プロの講師による初心者向けのスクール
- 10/16(日) 11:00-17:00
四日市 JAZZ FESTIVAL
- 10/16(日) 15:00-18:00
スケートボードパークイベント：全国からプロライダーが集うジャムセッション

連携イベント 秋の四日市まつり/なんでも四日市の

パークエリア

スケートボードパーク 物販 Kids 外遊びエリア

新たに生まれる歩行空間の多様な使い方の一環として、スケートボードパークを設置し、運営を試行します。

イベントエリア

ライブイベント e-sports キッチンカー

土日祝日を中心にステージを用いたイベントを開催し、中央通り再編で生まれる“ゆとりあるオープンスペース”の使い方を検証します。

ストリートエリア

モビリティ体験 フォトスポット 体験スペース

各エリアと連携した使い方を想定した体験施設や近鉄四日市駅からJR四日市駅を結ぶ自動運転車両の停留所を設置します。センシング技術を活用して人の移動状況などを把握します。

カルチャー＆チャレンジエリア

カフェや飲食店ブース 雑貨屋や小物の物販ブース ワークショップ体験

飲食や物販等の仮設の店舗を設置し、日替わりで出店することで、日常的な賑わいの創出や、並木空間の使い方を検証します。

※上記イラストは現時点の計画に基づくイメージであり、最終内容を決定するものではありません

はじまりのいち



パークエリア (スケボーパーク)



カルチャー&チャレンジエリア



イベントエリア (JAZZ FESTIVAL)

まちなかモビリティ



自動運転バス



小型カート



超小型電気自動車

令和4年度自動運転実証実験

期間 | 令和4年9月22日（木）～令和4年10月16日（日） 走行ルート | 近鉄四日市駅～JR四日市駅

（賑わい創出社会実験「はじまりのいち」と同期間実施）

乗車人数 | 延べ958人が乗車

遠隔監視

《令和4年度検証》

- ・車両走行状態（位置・速度・車内外の映像の監視）の確認
- ・車内モニターを通じた乗客とのコミュニケーションを実施

→通信状況が悪くなり映像や音声が途切れるケースがあった。

《令和5年度検証》

- ・ローカル5Gを活用することにより通信状況を確認
- ・自動運転バスの位置情報と連動した自動音声案内を配信



信号協調

《令和4年度検証》

- ・信号の情報が得られるようにする信号協調を実施

→最大1秒程度の遅延があった。

《令和5年度検証》

- ・プログラムを変更し遅延の解消を確認

乗車者の意見

- ・とても楽しく快適に乗車させていただきました。四日市のまちなかでの導入に期待します。
- ・自動運転バスを普及させ、もっと路線を増やしていろいろな地域の方にも利用できるようにしてほしい。



自動運転バス 乗車登録方法

- 自動運転バスのご乗車には乗車登録が必要です。
- 土日祝は事前予約ができます。※10/25(水)より受付を開始します。

STEP 1
登録・予約サイトもしくはCTYコネクトアプリからアクセス

STEP 2
画面に従い二次元コードを発行

STEP 3
二次元コードを提示して乗車



自動運転バスや公共交通機関を使って楽しく快適に市内を周遊しよう!

デジタルスタンプラリー 同時開催

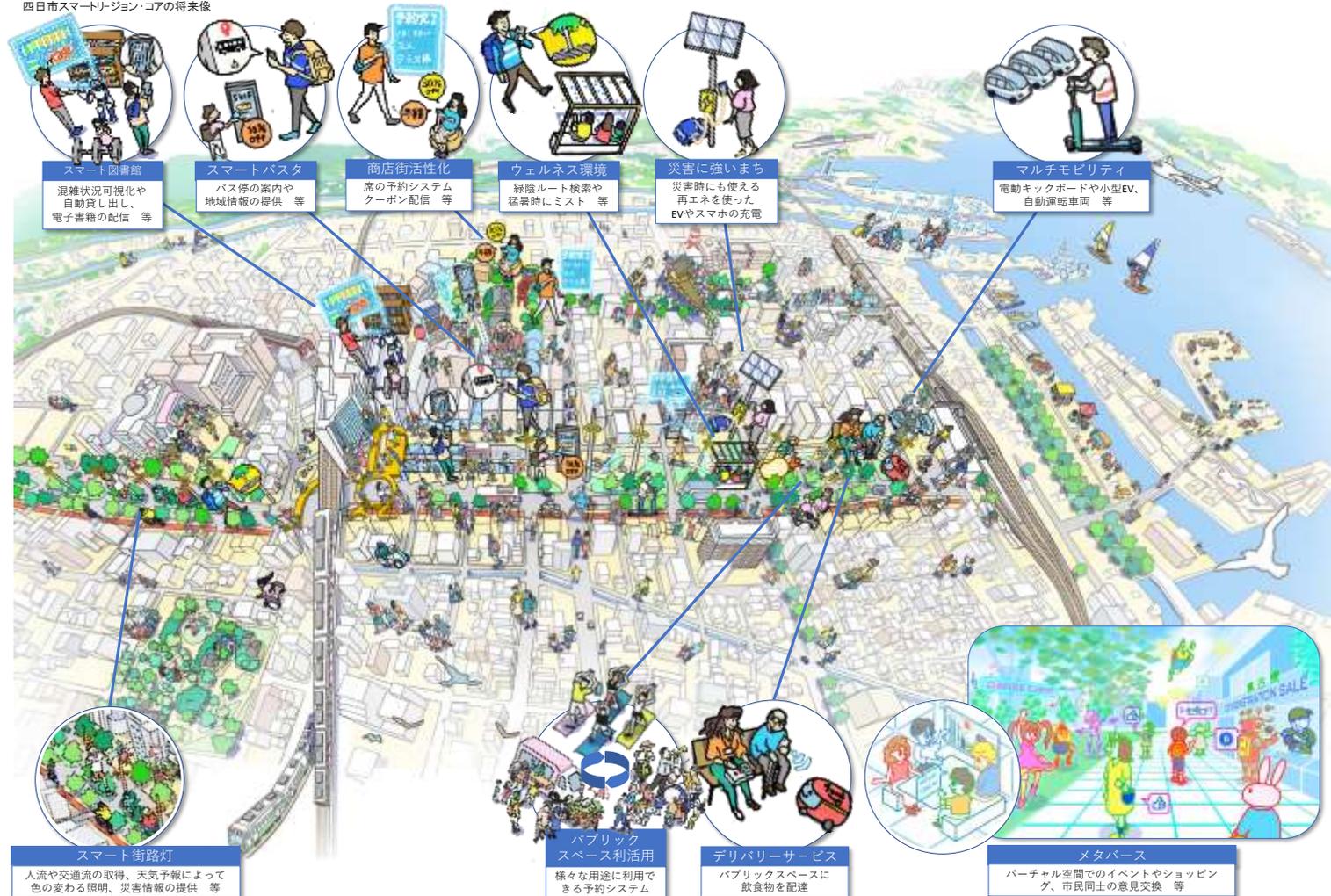
参加方法

- 1 CTYコネクトアプリをダウンロード
- 2 MyCTYへログインし、「スタンプラリー」より参加
- 3 各スポットでクイズに答えてデジタルスタンプをゲット
- 4 5箇所以上スタンプを集めて景品と交換

協力 **MACNICA** **三重交通** **三岐鉄道** **CTY** **Humanitec Plaza**

中央通り再編やバスタ整備という新たな都市軸の整備を契機として、**居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかを形成**し、中心市街地における賑わいの創出や都市の魅力向上を図る。また、同時に下図に示す多様なスマート化の取組を推進することで、**市民や企業が積極的にまちづくりに参加することにより、ウォークアブルな中心市街地、新たな交流・賑わいや価値の創出**を目指す。

四日市スマートリージョン・コアの将来像



※イラストはイメージです。

中央通りを中心としたデジタル時空間（ストック）マネジメント

実行計画に記載されている取組のうち、特に令和5年度に整備される中央通り沿いのパブリックスペースの利活用、公共交通の利用促進およびバーチャル空間を活用したコミュニティ形成に資する取り組みを優先的に実証する。

実証事業に関する目標（KPI）※一部

KPI（抜粋）	基準値（R4.11時点）	目標値（R8年度）
中心市街地の歩行者数	50,021人（休日） （主要8地点）	62,400人（休日） （主要8地点）

実行計画(全体)

四日市スマートリージョン・コア
～都市軸と新たな「市（賑わい）」の創出～

現在、四日市市中心市街地においては、まちなかの回遊性向上による賑わいの展開、都市の魅力・暮らしの質の向上、交流人口の増加、防災機能の向上などが課題とされている。これらの課題解決を目指して、四日市スマートリージョン・コア実行計画の目標を『都市軸と新たな「市（賑わい）」の創出』と設定。中央通り再編やバスタ整備という新たな都市軸の整備を契機として、新たな「市」では、市民や企業の積極的なまちづくり参加を促し、ウォークラブルな中心市街地の実現、新たな交流や価値の創出を目指す。

スマート図書館 スマートバスタ 商店街活性化 ウェルネス環境 災害に強いまち



スマート街路灯 パブリックスペース利活用 デリバリーサービス メタバース マルチモビリティ

実証事業の内容

実証事業の種類	概要
① 利活用空間活性化ツールの構築	<ul style="list-style-type: none"> 人流計測用のAIカメラ（スマート・インフラ）と情報発信用のデジタルサイネージの整備 取得したデータを視覚化するダッシュボードの構築 3者向けのサービス開発（混雑状況などの情報発信など市民向け、マーケティング情報など事業者向け、施策の効果把握など行政向け） 
② 四日市版 MaaS(Phase-1)の構築	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転バスやパーソナルモビリティなども含めた総合的な公共交通予約決済サービスの構築 将来的に駐車場、ホテル、レストラン等の予約システムとの連携を見据えた「MaaS×街歩き」サービスの展開 
③ バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築	<ul style="list-style-type: none"> 既存の「メタバースYOKKAICHI」のPLATEAUデータを活用したアップデート バーチャル空間上におけるアバターを活用した市民間の意見交換、集約機会の創出、サービス化 
④ 中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築	<ul style="list-style-type: none"> PLATEAUを活用した中央通りのデジタルインフラ台帳構築 データ利活用による中央通り公共空間及び施設計画の最適化ツールの構築 

実証事業における体制

四日市スマートリージョン・コア推進協議会

- ① 利活用空間活性化ツールの構築
- ② 四日市版MaaS構築
- ③ バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築
- ④ 3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築

四日市市

(株)CTY

(株)マクニカ

早稲田大学
(株)FIXER

実証事業から実装までのスケジュール

	R5	R6	R7	
①	実行街区におけるスマート・インフラ実装 ダッシュボード検討	スマート・インフラの調整、 各種サービスの構築		実装
②	社会実験（デジタルスタンプラリー等）	交通検索システム導入	外部サービス連携	実装
③	メタバースアップデート	イベント等開催、フィードバック		実装
④	仕様等検討	各街区において順次導入		実装

郊外部の取り組み



公共交通不便地域の
デマンド交通

近鉄四日市駅

JR四日市駅

商業施設の敷地内に
乗り継ぎ拠点を整備

郊外部のコミュニティターミナル（乗り継ぎ拠点）

イオンタウン四日市泊への乗り継ぎ拠点の設置



令和2年2月1日から
バスの乗り入れを開始



郊外部におけるデマンドタクシー

平成30年2月 デマンド交通社会実験を実施

市街化調整区域など公共交通不便地域を対象にタクシーを活用したデマンド交通の社会実験を実施（～令和元年度）

令和3年10月 四日市市デマンドタクシー運行開始

項目	内容
運行形態	タクシーを活用したデマンド方式
運行委託先	四日市タクシー協会（5社）、有限会社尾高（菰野町）
利用券の配布	利用登録者に利用券を配付（500円券×4往復/月＝年間96枚）
運行時間	午前6時00分～午後11時00分（有限会社尾高のみ7:00～0:00）
対象地区	市街化調整区域内で、鉄道駅から800m、バス停から300m以内の区域を除く区域
運行区域	発地もしくは着地のいずれかが市内であること
対象者	対象区域内に住む70歳以上の者
申請方法	申告制
利用料金	タクシー料金から1枚あたり500円を割り引く。1乗車2枚まで利用可能。 （予約利用の場合には迎車料金100円が別途必要。）
予約方法	電話にて随時予約or駅前などで待機している車両も利用可



5. 今後の取り組み



「都市公園再編」

- ・市民公園工事着手
- ・諏訪、鶉の森公園詳細設計

「エリアプラットフォーム」

- ・未来ビジョンの策定

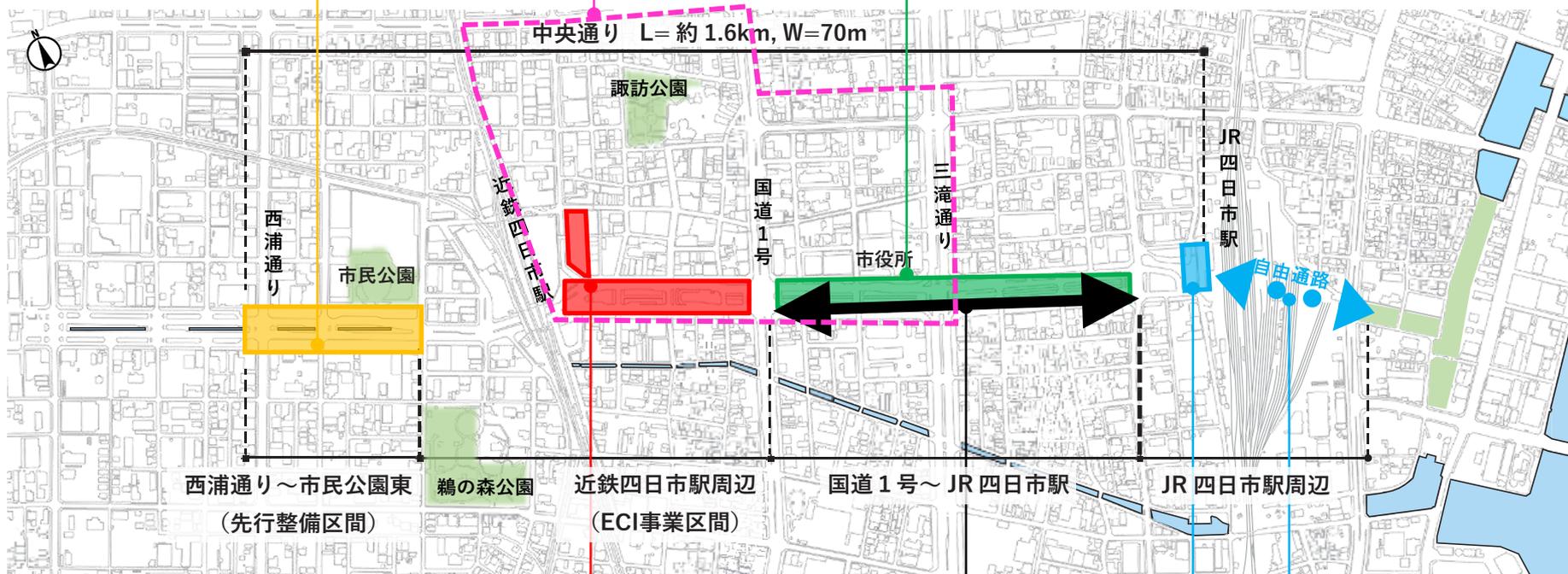
「スマートリージョンコア実行計画の推進」

「自動運転車両等の実証実験」

「先行整備区間」

- ・歩道部工事（区間完成）

「Park-PFIの検討」



「近鉄四日市駅周辺」

- ・図書館の基本設計
- ・バスタ運営事業者の公募
- ・バスタ四日市詳細設計、工事着手
- ・円形デッキ・車道振替工事に着手

「国道1号～JR四日市駅」

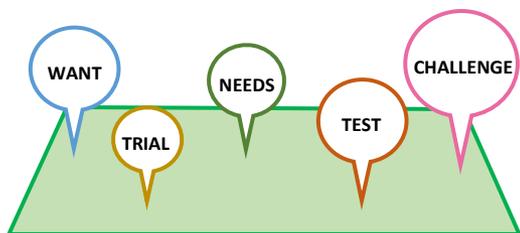
- ・道路工事着手

「JR四日市駅周辺」

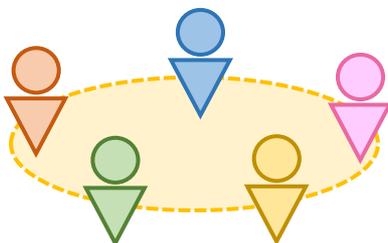
- ・大学等の基本構想
- ・自由通路の概略設計



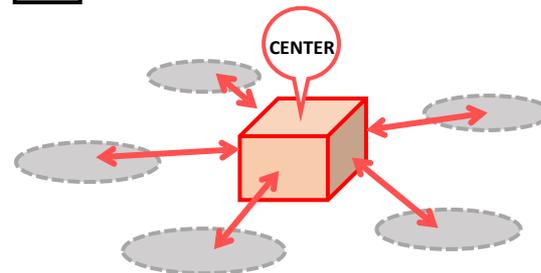
1 様々なニーズに対応し新たなチャレンジを可能とする場づくり



2 多様な関係者が関わる管理運営の仕組みづくり



3 まちづくりの波及と連携づくり



整備後も様々なニーズに応じて必要な更新を繰り返しつつ、常に誰かが新たなチャレンジを行っている空間となる

行政、市民、企業など、この空間に価値を見出す大勢の人々が協働して維持管理や運営に携わる仕組みをつくる

沿道の再開発や商店街やみなとまちづくりなどと連携した取り組みを進め、相互に波及効果高めるとともに、市内をはじめ広域に展開される様々なまちづくり活動をつなぐ拠点としての役割を果たす



販わい創出社会実験でのチャレンジショップの様子

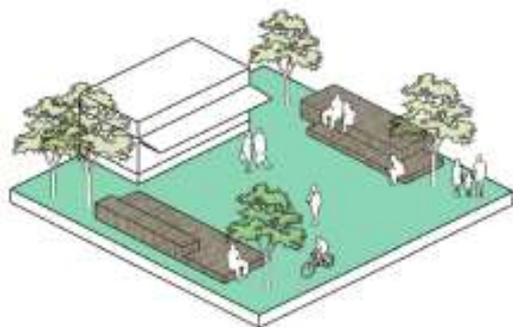


社会実験準備会の様子



販わい創出社会実験でのインフォメーションブースの様子

1 公共空間の管理運営への民間活力の導入

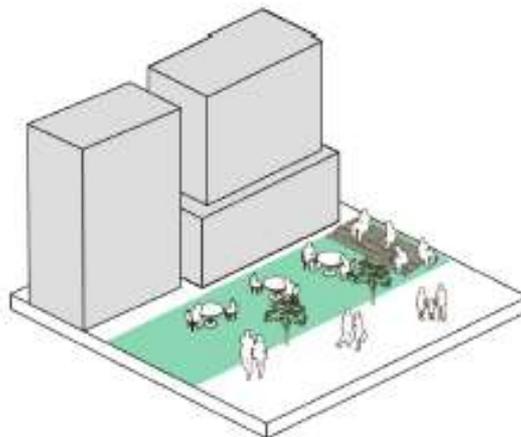


- ・コンセッション制度（バスタエリア）
- ・Park-PFI（国道1号～JR四日市駅）
- ・指定管理者制度



Park-PFIの事例 久屋大通公園（名古屋市）

2 沿道施設と一体となった公共空間活用

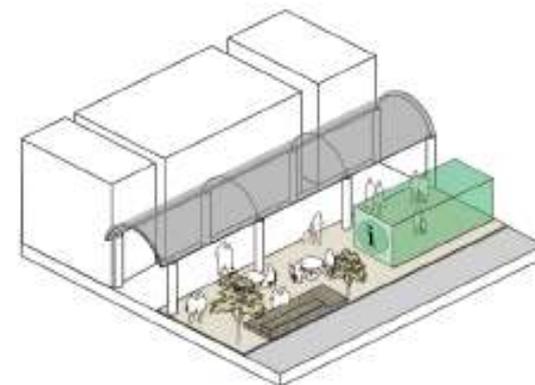


- ・歩行者利便増進道路（ほこみち）
- ・公開空地活用



ほこみち指定道路の事例 三宮中央通り（神戸市）

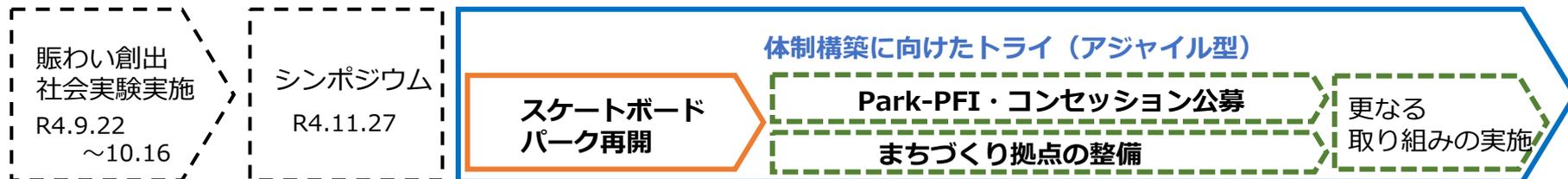
3 まちづくり拠点



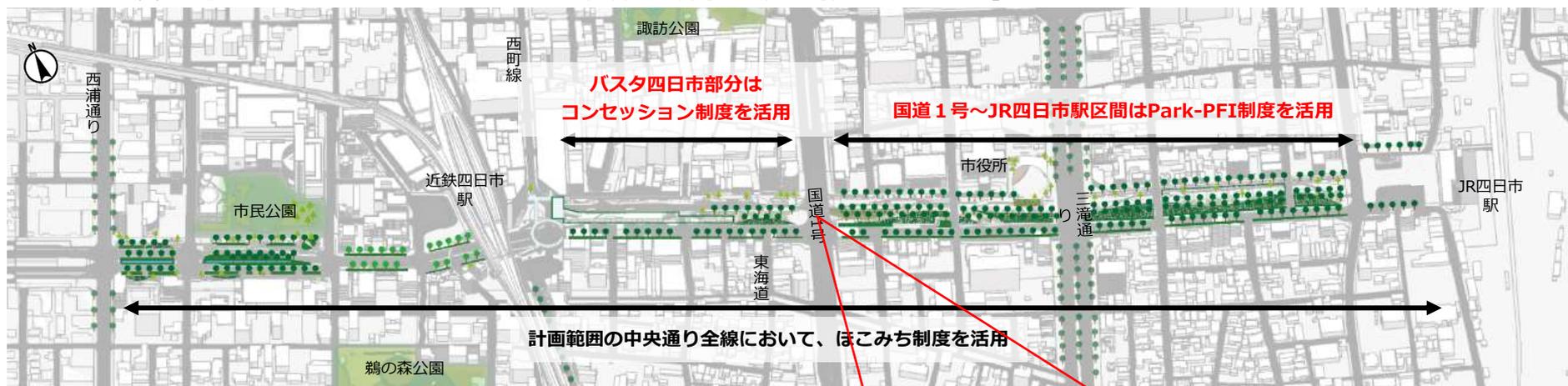
- ・まちなか空間の利用調整の場
- ・まちづくり情報のインフォメーション



まちづくり拠点の事例 アーバンデザインセンター松山（松山市）



- ・歩道上にオープンカフェ等の設置が可能な「歩行者利便増進道路制度（ほこみち）」を中央通り全線で活用する
- ・道路を公園的に使うことができるようにした上で、飲食店や売店等の設置が可能な「Park-PFI」を活用する



※本数は正確ではなく、樹木配置のイメージを模式的に表現している
※緑地の形状は、今後ランドスケープの検討により変更の可能性あり

バススタ四日市：コンセッション制度を活用して民間事業者を選定
 国道1号～JR四日市駅：Park-PFI制度の活用に向けてサウンディング等を実施中
 ⇒令和6年度中の事業者公募



【令和4年3月】「ニワミチよっかいち」中央通り再編基本計画（第2期中間とりまとめ） 将来イメージ図



©四日市市・日建設計

【令和5年5月】「ニワミチよっかいち」中央通り再編基本計画 将来イメージ図

ご清聴ありがとうございました

